



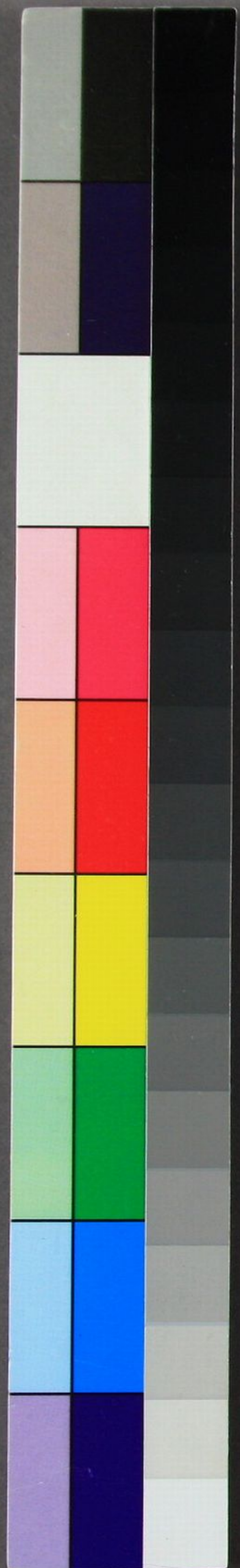
語叢

アの部

漆山又四郎纂

特別
イ 4
3159
A 27

あ 吾 彼
 あ 呼ぶ 應え 声 「ト 鷹 へテ」
 あいだる アマユ アマエタル あいの愛ノ音
 あいなだのみ タノミガヒナキ頼ミ 當ニナラヌタノミ
 あいろ 文色ノ約 文目ニ同じ 「モワカズ」



あういぐ 奥行 人ノ後ヨリ行ッ

あうどち 鷺實 うぐひすのきノ實

あうな 無奥 浅慮

あうん 阿呼 佛經ノ語 息ノ出入ノ稱

あうする 奥寄

あうら 足占 古占ノ法、足ヲ踏ミテセシモノ、アシウラ

あえかに 危氣ニ意カ、カヨク、タヨク、「見エタヒ」

あかいち 赤鱒 鱒ノ塩漬、又ハ乾シタルモノ、(二) 鑄刀モイフ

あかう 阿衡 (殷ノ官名、伊尹ノ故事) 摂政ノ異稱

あかうなぎ 赤纒 一名めくらうなぎ

あがつ 頰

あがつぎけ 赤鵝毛

あかとき 曉

あかな 赤菜 近江ノ日根ニ産ス 紫菀

あかなまづ 赤鯰 ぎぎノ類、長サ二三寸、鱗刺アリ

あかにし 赤螺 古名アキ螺ノ類、(二) 各齋ノウ

罵リテ呼ブ語

○あか収ヤス 日又ハ晝ノ枕詞

あか収ぶり 垢舐 浴室ニ生ケル(二) 為もり

あかのまんま 赤飯 (二) 野藪ノ一名

あかばらす 赤坊主 夢ノ類 あかばらふしニ同じ

あかばち 赤蜂 釋蜂

あかばな 赤花 柳葉菜

あかばら 赤腹 鳥ノ名 (二) むもり (三) うぐいノ名

あかひげ 鳥ノ名 (一) せんごま (二) 西洋人

あかひゆ 赤莧 一名ニヤウエシ

あかぼし 赤法師 小夢ノ芒ナキモノ 火焼夢

あかむし 赤舞 煙草ノ名

あかめ 赤女 綱ノ古言

あかもがさ 赤疣瘡 はしノ古言

あだな 綽号 渾名 (二) 徒名

あだなみ 徒波 動キテ定ムラフ波ヲ人ノ心ノ定ムラフ

ニタトヘテラテラ 語

あだけな 徒花 謊花

アタン 阿旦 草ノ蘆薈

あぢくり 味瓜 はくばりニ同じ

あぢがも 古名 鳥名

あぢやうづり

あつらた 層板 鱧

あつたがな 赤豆革

あつそん 朝臣アソノミ

あづち 珊瑚射塚 的ラカス所 イクハドコロ

あつに 榆ノ種 北海は日光木曾等に産ス

春ノ末数ハ花ムラサリ開ク、根ハ皮ニテあつノ布

あかえど 赤鱒

あかかうじ 赤柑子 朱橘

あかかち ほほづきニ同ジ

あかかさ 赤瘡 麻疹ノ古言

あかがし 赤檜 血櫛

あかがは 赤柏 あかめがしニ同ジ

あかがしげ 赤糟毛 驛油馬

あかがぬしぎ 銅鷄 鶴に似タリ

あかぎ 赤木 紫檀ノ類

あかくさ 赤草 ははきぎ (二)野蓼

あかこ 赤子 虫ノ名 金魚ノ餌トス 小紅炭

あかごけ 赤苔 湿地ニ生ズ甚細カク泥土ニ似テ色赤ク紫ナリ

紫衣

あかごめ 赤米 (一) 米ノ微紅キ斑アルモノ (二) 陳米ノ赤ミタルモノ

(三) ダイタウマイ

あかーだま 明石玉 擬製ノ珊瑚珠 播州明石ヨリ産ス

あかすな 金剛砂

あかそ 赤麻 やらむしノ二種、形のまをこ似多

あかた 縣「上り田ノ義」

あかたのー 縣召

あかもの 贖物 かなーろ

あかうさまに 赤地 (一) タチマチ 倭忽

あがる 別

あかを 赤魚

あぎ 鰯 アギト アゴ

あきぐみ 秋菜莢

あきさ 鳥ノ名 秋沙 刀鴨一種

あきどび 明盲 アキノクラ

あきさふ 鰯ラハタラカス

あきふたげ 秋二毛 鹿ノ毛色ニイフ語

秋栲 あきも、秋熟る栲

あくうち 灰汁打 紙に灰汁ヲキテ打テ多シモノ

あくもと 足四處意 キビスカタ

あくせうち 阿久根焼酎 薩州ノ出水郡中阿久根ヨリ産ス

あくぶ 欠ラナス

あくみ 足組 ヲダシテ アダラ 跌

あくわい 亞槐 大納言ノ異稱 亞相

あがいし 上石 田基ノ語 田ニテ殺シテ取リアゲタ名敵

あがく 石ハマ 死子

あがく 響句 (一)連歌ノ下ノ七七ノ句(各句ニ對ス) (二)結局

あげこい 上輿 輿ヲ肩ニカガスルヲト(下輿ニ對ス)

あげだたみ 上畳 畳ノ両面共ニ表ト縁トヲツケタルモノ

あげ コレニ枚ト座敷ノ畳ノ上ニ敷キテ貴人ノ坐處トスコレヲ御

座トイフ

あげつらし 論

あけに 明荷 竹藪籠ノ一種 外ヲ席ニ被ヒ角ニ

又押縁ニ割竹ヲツツリシケタモノ旅行ノ具ト假ニ細引ニ束ネ

テ時ニ明クニ供フ

あげばり 揚張義 幕ノ類 四方ト上トカコルモノ 帷

あげぶた 上蓋 厨下ト板間ノ床ニ釘付ケニセズ蓋ノ

如く上ゲテ開クベク作りと處、下ニ物ヲ野フ、アゲイタ

あひぼひの (一) 曙 (二) 鳥賊ヲ素乾ニシテモノ (加州)

あひぼひのぞめ 紅又ハ紫トシテ、何カシニ添フモノ

あげまき 揚卷 (一) 總角

(二) 紐ノ結ビヤウノ名、左右ニ輪ヲ出シ、中ヲ入レダクニ結ルモノ、

諸具ノ飾リトス (三) まて貝 (四) ききやう) がヒトイフケノ久シク

曝シテ上落チ下ノミ殘ルモノ、五出ノ花如シ

あこ 吾子 子ヲ親ミ呼ブ語

アコ 下火 (字宋音) 火葬ノ時火ヲツケル僧ノ役目、釋宗イフ

あこり 赤魚ノ訛

あこぎ (一) 一事ノ度重テコト (二) 轉ミテイックマデモ非道ニ

今貝ノコト 一海ノことを阿薄ノ島ヨリク 鯛ノ名ニウケルは

人も知りぬ 阿薄 勢ガ安濃郡

あこだうり 瓜 ぼくぶらノ一種 形中ク真円ニシテ

徑六寸許ノモノ皮赤クシテ破衣無シ

あこめ 初婦人童女ノ身ニ近ク着ル服

あこやがし 阿古屋貝 真珠貝 珠母 あこやのたま

あさい 朝寝

あさうり 浅瓜 (一) 白瓜ノ一名 (二) ちまノ一名

あさがほ (一) 桔梗ノ古名 (二) 木槿ノ古名 (三) 出ノ名カゲルニ同ジ

あざがら 麻幹 名ヲガラ 麻猪

(二) 櫛木ノ名 白辛樹 葉内ク未キ春夏ノ間白花ヲ開ク
重ニミト多花ノ如シ実ヨリ油ヲ採ル

あざがら 淡黄 淡黄

(二) 浅葱 (淡キ葱ノ葉ノ色ノ名、滑キヲ萌葱トノク反)

色ノ名、藍色ノ淡キモノ 淡縹

あざがら 青ク見 花開ク遅シ

あざがら 浅茶紙 すすきがしノ下品ナルモノ

馬保 白保ノ二種アリ

あざがら (雨雪ノ時ノ深沓ニ對ス) 袈裟束着用ノ時ニ

常用スル袈裟ヲ作り外ヲ漆ニテ塗り内ニ紙ヲ貼ル

常用スル者桐ヲ作り外ヲ漆ニ塗リ内ニ紙ヲ貼ル

あさくらさんせう 但馬養父郡朝倉村ノ産

古言フサハジカミ又十九ハジカミ

あさげ 朝食

あさささ 水草 荇菜

あさざけ 朝酒 卯飲

あさすず 朝涼

あさだち 朝立 早發

あさいぢ 鱖 口大鱗細斑アリ おひかはニ同シ

あさぢ 淺草 茅ノ跡ニ生トスルモノ

あさぢちさけ 浅茅酒 肥後ノ産 色白ク濃シ

あさつきさなます 浅葱膾 葱テス浅葱トあさりノナ

こトウ酢味嗜テ和ヘタルモノ上巳ノ膳ニ供フ

あさなぎ 朝和

あさなぐ 糾

あさこのはがめ 麻葉亀 瑤瑁ノ類

あさひがに 朝日蟹 一名ベニガニ

あさひがに 朝日貝

あさひがまほこ 朝日蒲鋒 板付ニテ紅ニテ深クモ

○あさびらき 朝開 朝啓ラ開船ノ意 漕グノ枕詞

あたまつげ 朝熊黄楊 朝熊山ヨリ出ツ

あざみくは 薊桑 葉ノ刻缺ノ浮キモノ 薊桑

あざみどり 浅緑

あさむ 浅ハカナリト賤シム

あざやぐ 鮮カニナル

あさやけ 朝焼

あざる 鮫 鱧ニ腐ル (二) 嘲ケル

あし 足 (五) 麓山ノミ (六) 船ノ水ノ入ル部 吃水

(七) 錢

あしあぶり 足炙 アシクワ脚燻

あしうち足打 器ニ脚ヲ打テ添ヘスモノ
あしのか 簀 土ナド運ブ器 筑ノ如シ
○あしがちる 葦散 難波ノ枕詞

あしかび 葦芽

あしがひ 葦貝

あしがも 葦鴨

あしぎぬ 絶 粗キ絲ニテ織リタル帛

あしきる 洲 膝蓋骨ヲ切り去ル支那ノ刑

あしげ 葦毛 馬ノ毛ノ白毛ニ黒キ差毛アリモ 驢

あしけし 悪ニキ状アリ

あじさし 鳥名

あじすり 足摩 蹉跎

あしたぐさ 草ノ名 海濱ニ生ズ 鹹草 アシタバ

あしたごころ 朝所 太政官中ニアル間ノ名、或云

八省院ノ別名 アイトドロ、アイトンドロ

あいつぎ ツミダイ 兎

あいながたこ 足長蛸 つかうゝゝゝ同ジ

あいやし 亞相 大納言ノ異稱

あいやがま 筑前遠賀郡葦毛村ニテ鑄出タル釜

あじろ 細代 滄 (二) 編席

あすはひのき 明日ハ槍ニ為ラクニ意トシテ故ニあすな

らうトモイフ 羅漢柏 又あすひ

あせおり 畔織 地ニ高ク低クナヤン織リモノ

あせくら 杖倉 方元材ヲ横ニ組ニ上ゲ四隅ニ打置ヘテ

井樓ノ如クニ作りタシ倉

あせみ 馬酔木 アセビ アセキ アセホ 投木

あそみ 朝臣

あそけり 荒シタケテ駱ウ

あたごけ 愛宕岩 地柏

あだーちどり 他契